

※ 応援団登録していただいた方には郵便又はメールでお届けしています。

令和3年10月発行

広尾町コミュニティ・スクール

広尾っ子応援団だより (No.45)

広尾っ子応援団本部事務局（教育委員会社会教育課）電話 01558-2-0181



広尾っ子応援団本部会議を開催しました

9月から延期となっていました本部会議は10月18日に行われました。本部長の田中副町長の挨拶に続き、議事の報告事項では、昨年9月から今年9月までの活動結果が確認されました。

その後の協議事項では、①「地域・家庭の方策への支援」として、学校での地域学習への人材派遣の協力をする事、②「学校支援の対応」として、重点教育目標に沿った支援協力と協働活動サポーター（ボランティア）の活用を進めること、③「応援団登録や応援メッセージ活動の促進」として、ウェブ掲載や説明会、資料配付等の啓発に努めること、④「情報発信」として、応援団だよりの定期的発行等に努めることが決定されました。



また、委員の方からはコロナ禍にあるものの、学校への支援を大切にして、子どもたちの成長につなげてほしい等のご意見をいただきました。

なお、広尾っ子応援団本部は、地域学校協働活動を推進するために設置され、地域住民と学校との連携体制づくりや協働活動の普及啓発に取り組んでいます。

広尾高校が第2回学校運営協議会を開催

9月30日に広尾高校の今年度2回目の学校運営協議会が行われました。初めに、学校より今年度の重点教育目標「表現力を高める」を目指す教育活動について、中間評価報告がありました。その後の熟議では、広尾高生のよいところや伸ばしたいところをグループに分かれて交流しましたので、委員の方からの意見を紹介します。

〈生徒のよいところ〉

- ・素直 ・のびのびしている ・仲間意識が高い
- ・堅実 ・真面目 ・優しい ・明るい
- ・はつらつとしている 等

〈生徒の伸ばしたいところ〉

- ・表現力 ・粘り強さ ・コミュニケーション能力
- ・決断力 ・チャレンジ力 ・自己肯定感 等



重点教育目標を目指す重点単元の授業

豊似小学校で、重点教育目標を目指す重点単元の授業が行われました。2年生の国語科の授業で、学習してきた物語がどのように続くかを想像する活動でした。特に、豊似小が大切にしている対話的な学びが展開され、子どもたちは、積極的に発言したり、話し合ったりしていました。このような授業の積み重ねで、重点教育目標の文言にあるように子どもたちの学びに向かう力が磨かれていくと思います。



輝け広尾っ子：応援メッセージを紹介します

小学児童5人、多分3，4，5年生位でしょうか。虫かごとたもを持って、園の池の周辺で虫取りをしており、「何を捕獲しているの」と聞いたところ、一人はカエル、もう一人はバッタを捕獲してるとのことで、携帯水槽には2～3cm位の茶色の成人カエルだそうです。初めてこんな小さなカエルを見せてくれ、「子供カエルですか」と尋ねましたら成人だそうで、アオガエルだそうです。また、バッタを捕まえている子は、トカゲの餌にするそうで「トカゲの大好物だ」と言っておりました。この森には、色々な生物や植物が生息しているのに驚きでした。

森の樹木とそして生植物とふれあい興味を持ち、様々な生き物の知識は、まさに課外授業そのものです。あの森にいると何となくリラックスするので不思議です。漁業もあらゆる種類の魚が不漁ですが、自然に還すことが生物の住みよい居場所になるのだと、森を利活用している子供たちに学び教えられました。

(町内 70代 男性 9月25日受取)

私の住んでいる町内会では、子供がすくなく遊んでいる声が聞こえません。さみしいかぎりです。私が外に出る機会がすくないせいでしょうね。

でも、たまにランドセル姿の子供を見かけると「かわいいな」と思います。交通事故に遭わないように、元気で大きくなって下さい。

(町内 80代 女性 10月5日受取)